

報道関係各位

銚子信用金庫

平成 20 年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 岩瀬喜克）の平成 20 年度決算（平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月）の概要を公表いたします。

1. 平成 20 年度決算の概要について

預金積金は、景況の低迷による手元資金の取り崩しや期末の一時的な公金流出等により、前年度比 7,840 百万円の減少となりました。

貸出金は、事業者の資金繰り円滑化を目的とした緊急保証制度など保証協会保証付融資を主体に推進を図りましたが、長引く地域経済の低迷に加え、米国発の金融危機に端を発する急速な景況の悪化等により、設備投資意欲や消費意欲の減退など全般に資金需要が鈍化したこと、さらに不良債権処理のため期末に大幅な部分直接償却を行ったことなどにより、前年度比 12,690 百万円の減少となりました。

なお、20 年度は「一般貸倒引当金」（業務費用）と「個別貸倒引当金」（臨時費用）がともに戻入（ ）となったことから、損益計算書への会計上の記載は、その合計金額を「貸倒引当金戻入益」として特別利益に計上しております。この計上科目の変化の影響もあり、業務純益 3,260 百万円、経常利益 119 百万円と、ともに前年実績を下回りましたが、最終利益である当期純利益は 1,573 百万円と前期比 170 百万円の増加となり、過去 3 期を上回る黒字を計上いたしました。

この結果、経営体力を示す自己資本比率は 9.75% となり、前年度からさらに 1 ポイント上昇いたしました。

ちなみに、有価証券運用において、当金庫は安定的かつ堅実な運用方針を堅持してきたことから、米国発の金融危機にともなう市況の悪化による影響は極めて軽微であり、有価証券運用を主体とする余資運用収益は、2,534 百万円と前年実績を 205 百万円上回りました。

2. 平成 20 年度決算主要計数

(1) 預金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増 減
預 金	418,690	410,850	7,840
貸 出 金	200,448	187,758	12,690

(2) 損益の状況

単位：百万円

	平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増 減
業 務 純 益	3,957	3,260	697
経 常 利 益	749	119	630
当期純利益	1,403	1,573	170

(3) 自己資本比率

自己資本比率	平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増 減
	8.75%	9.75%	1.00%

(4) 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増 減
不良債権残高	37,468	23,685	13,783
不良債権比率	18.47%	12.46%	6.01%

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：松岡）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel : 0479-25-2115 fax : 0479-22-9909 e-mail : e_kikaku@choshi-shinkin.co.jp

ちよししんきん

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>